

保護者の皆様へ

朝晩は少しずつ涼しく感じられる日が増えてきましたが、子供たちが学校で過ごす日中は、まだ汗ばむ陽気です。体育学習発表会にむけて、各学年一生懸命練習に励んでいます。コロナウイルスの感染急拡大を受けての2学期のはじまりでしたが、3週目を迎え、子供たちは安全に気を付けながら健康に学校生活を送っています。去年は多くの学校行事が中止を余儀なくされましたが、感染症対策を講じながら、少しずつ学校行事を再開しています。先週は月曜日に1, 2年生と平和の森公園にどんぐり遠足に行ってきました。また金曜日には3年生と大田区内巡りに行ってきました。どちらも子供たちの楽しそうな姿、友達と関わる姿を見ることができ、とても嬉しかったです。



1, 2年生は縦割りのグループ活動が中心で、平和の森公園ではグループごとに秋探しをしました。一昨年より多くのどんぐりが落ちていて、子供たちが拾ってもまだまだたくさん残っていました。クヌギは大人気で、多くの子供たちが拾っていました。袋いっぱいになったどんぐりが、どんなおもちゃに変身するか楽しみです。行き帰りには2年生がそっと道路側に寄り、1年生の安全に気を配る姿が見られました。「どうして移動するの」と聞いたら、「去年の2年生もこうして僕たちを守ってくれたんだよ。だから今度は僕たちの番なんだ。」としっかりと答えてくれた子供たち、大一の伝統、縦のつながりがしっかりと根付いていました。今週は拾ったどんぐりを使ったお店やさんが開店し、兄弟学級で楽しめたようです。



3年生は大田区内巡りで池上本門寺、羽田空港などを見学しました。大きな観光バスに乗るだけでも大興奮の様子。でもバスの中ではガイドの方の話をしっかり聞いていました。教室で大田区内の特色ある地域を学びましたが、やはり実際に訪れると反応が異なります。



池上本門寺の歴史的な建物にどの子も感激していました。そして大きさ、美しさに圧倒されていました。大田区の誇る羽田空港ビッグボードでは展望デッキで離発着する飛行機に、こちらも大興奮。乗ってみたい、旅行に行きたい、それぞれ夢が膨らんでいました。

各学年、今しかできないこと、今学ばせたいことがあります。感染症対策を講じながら、子供たちに豊かな経験を積ませたいです。

令和3年9月21日

大森第一小学校 校長 尾上 健二